

# 野村不動産 会社案内

NOMURA REAL ESTATE  
DEVELOPMENT  
Company Profile

2022



野村不動産

あしたを、つなぐ — 野村不動産グループ



## あしたを、つなぐ

---

私たちは、人、街が大切にしているものを活かし

あした  
未来につながる街づくりとともに、

豊かな時を人びとと共に育み

社会に向けて、新たな価値を創造し続けます。

## INDEX

### 04 事業紹介

### 05 トップメッセージ

### 06 野村不動産グループ 2030年ビジョン

### 07 野村不動産の街づくり

- BE UNITED構想
- KAMEIDO PROJECT
- SHIBAURA PROJECT

### 13 野村不動産の開発力

### 15 住宅

- 新築分譲マンション「ブラウド」  
新築分譲一戸建て「ブラウドシーズン」  
都市型賃貸マンション「ブラウドフラット」
- 健康増進型・賃貸シニアレジデンス「オウカス」  
郊外型新築分譲マンション「オハナ」  
リノベーション  
マンション建替  
地方中核都市への展開
- ハイブリッド型リノベーション  
木質系構造部材使用の高層建築  
ZEH
- 市街地再開発事業

### 25 オフィス

- 東京虎ノ門グローバルスクエア  
日本橋室町野村ビル  
横浜ビジネスパーク(YBP)  
ラゾーナ川崎東芝ビル  
新宿野村ビル
- 中規模ハイグレードオフィスビル「PMO」  
HUMAN FIRST 研究所  
クオリティ・スモールオフィス「HIO」  
サテライト型シェアオフィス「HIT」

### 31 商業施設 / ホテル / 物流施設

- 商業施設 KAMEIDO CLOCK  
bono相模大野  
日本橋室町野村ビルYUITO  
モリシア津田沼  
地域密着型商業施設「SOCOLA」  
サービス特化型商業施設「MEFULL」  
都市型商業施設「GEMS」  
DELI STATION X 田町
- ホテル NOHGA HOTEL  
庭のホテル 東京
- 物流施設 Landport  
企業間共創プログラム「Techrum」  
カテゴリーマルチ

### 41 海外

- Thailand  
Vietnam  
The United Kingdom  
China  
Philippines  
KAIZEN活動

### 45 サステナビリティ

### 47 DX

### 48 ウェルネス経営

### 49 グループ力

### 50 沿革 / 会社概要



## 事業紹介

### 住宅

野村不動産グループでは、製販管一体の強みを活かし、首都圏を中心とした新築分譲マンション「ブラウド」、新築分譲一戸建て「ブラウドシーズン」等を展開。ご入居後も独自のアフターサービスを提供するなど上質な住まいにこだわった住環境の創造に取り組んでいます。また、賃貸シニアレジデンス「オウカス」を手掛け、ご入居者様の健康寿命の延伸を通じ、超高齢化社会の課題解決に取り組んでいます。

### 再開発・複合開発

野村不動産が注力しているのがこの再開発・複合開発です。耐震性に劣る建物の建替えや道路幅の拡幅といった地域の課題を解消することで交通の機能強化や商業・公共施設の集積、地域活性化・都市機能の向上に貢献。首都圏を中心に関西や仙台・名古屋エリアでも着手しており、地方中核都市での事業展開も進めています。

### オフィス

多様な働き方にワンストップで対応できるオフィスポートフォリオを構築。「東京虎ノ門グローバルスクエア」や「日本橋室町野村ビル」などの大型開発に加え、中規模ハイグレードオフィスビル「PMO」、クオリティ・スモールオフィス「HIO」、サテライト型シェアオフィス「HIT」など、商品開発力と総合力を活かし、働く全ての人にとって価値のあるワークプレイスを創造・提供します。

### 商業施設・ホテル

デベロッパーの総合力を活かし、「KAMEIDO CLOCK」や「bono相模大野」などの複合型商業施設や地域密着型商業施設「SOCOLA」を展開。また都市型商業施設「GEMS」やサービス特化型商業施設「MEFULL」など多様化する時代にフィットする商業施設を開発・運営しています。さらに、世界の人々と地域を繋ぐコミュニティ型ホテル「NOHGA HOTEL」や「庭のホテル 東京」を手掛け、事業の拡大を図っています。

### 物流施設

首都圏・関西圏・中部圏などを中心に、物流用地のソーシング(情報収集)から取得・開発までをグループ連携による一貫体制で実現。2007年より良質な「最新仕様」「操作性能」「作業環境」「物流立地」を追求するというコンセプトのもと「Landport」ブランドのシリーズ展開を進めています。また、企業間共創プログラム「Techrum」を開始し、社会インフラである物流業界で深刻化する人手不足の課題解決にも取り組んでおります。

### 海外

国内事業を通じて培ったノウハウを活かして、経済成長が著しいアジアの主要都市を中心に海外市場にも挑戦しています。タイ・ベトナム・フィリピン・中国および英国において、地域の特性やニーズに対応しながら、住宅・賃貸から複合開発まで、さまざまな開発を進めていきます。また、商品性・品質を高め顧客満足度向上に貢献しております。

「個に寄り添う姿勢」を大切に、  
多様化するライフスタイルや価値観に対応した  
新たな価値を国内外に提供してまいります。

皆様には平素よりご高配を賜り、誠にありがとうございます。  
当社は1957年に創業し、鎌倉梶原山住宅地の宅地造成  
から不動産開発をスタートさせました。以来60年超に渡り、  
社会の要請とお客様のニーズにお応えしながら、総合デベ  
ロッパーとして常に柔軟な発想で新たな事業にチャレンジ  
してまいりました。

住宅事業においては、「お客さまの未来を想う」をブランド  
ビジョンに掲げた分譲マンション「プラウド」を中心に、一戸  
建てや賃貸マンション、シニアレジデンスなど、お客様の  
ニーズに合わせて多彩な住まいを提供しています。  
都市開発事業においては、働き方が多様化する中で、大型  
オフィスビルに加え、中規模で高機能かつ高グレードの  
オフィスビル「PMO」やサービス付き小規模オフィス、サテ  
ライト型シェアオフィスなどを組み合わせたオフィスポート  
フォリオ戦略を積極的に推進しています。さらに、独創的な  
商業施設やホテル、高機能物流施設なども数多く開発して  
います。

また、これら「住まう、働く、憩う」などの機能を組み合わせた  
大規模複合開発にも積極的に取り組んでおり、2022年  
には事業創発本部を新設。新領域事業の開拓に加え、  
複合用途の開発やエリアマネジメントなどのコミュニティ  
支援を強化致しました。

これらの事業は三大都市圏にとどまらず、地方中核都市に  
おいても再開発事業等に数多く参画するなど、そのフィールド  
は拡大しています。そして、国内での実績とノウハウを基に、  
成長著しい東南アジア各国を中心に海外においても積極  
的に事業を展開しています。

現在においてはベトナム、タイ、フィリピン、中国、英国で  
住宅分譲事業及び賃貸事業に取り組んでおり、各国の  
パートナー企業と共に現地のお客様のニーズに合わせた  
商品やサービスの提供を行っています。ベトナムにおいては  
数千戸にもおよぶタウンシップ開発を複数進めており、また  
フィリピンでは現地企業との合弁会社を設立し永続的に  
事業を行う体制と致しました。海外事業は当社の大きな  
成長分野になると期待しています。

昨今は、新型コロナウイルス感染症の影響や、顕在化する  
地政学リスク等もあり、私たちを取り巻く社会情勢や経済  
環境が大きく変化しています。このような環境下において、  
当社は2022年4月に、野村不動産グループ2030年ビジョン  
「まだ見ぬ、Life & Time Developerへ」を策定しました。  
これは、人びとの様々な生活“Life”と、一人ひとりの過ごす時間  
“Time”を軸として、新たな価値創造を目指すという考えが  
込められています。この実現に当たっては、私たち自身も進化・  
変革し続ける必要があります。その一環として、現在建設中  
で2025年に竣工予定の「芝浦プロジェクト」S棟へ本社を  
移転することを決定致しました。当社のさらなる成長や持続  
可能な社会への貢献はもちろん、この移転を通じてこれまで  
以上にチャレンジングな組織風土を醸成し、自らが率先して  
新たな働き方を実現していきたいと考えています。  
そして、お客様一人ひとりの生活や時間に寄り添いながら、  
新たな価値の創造に取り組んで参ります。

引き続き、当社並びに当社グループをご支援賜りますよう、  
何卒よろしくごお願い申し上げます。



野村不動産株式会社  
代表取締役社長

松尾 大作

## まだ見ぬ、 Life & Time Developerへ

当社グループは、不動産開発や関連サービスの提供を通じて、  
お客様一人ひとりの生活や時間に寄り添うことを大切にしてきました。

今多くの社会課題に直面し、

お客様のライフスタイル・価値観も多様化する中で、  
わたしたち自身もまた、変化していく必要があります。

人びとの、様々な生活 “Life”。

一人ひとりの、過ごす時間 “Time”。

この2つを軸として、今まで以上に深く、  
グローバルに、新たな価値を創造する  
「Life & Time Developer」へと、自ら変革していきます。



# 野村不動産の街づくり—1

## 自ら成長し「自走できる街」をつくる「BE UNITED構想」

街づくりの進化を模索し、開発エリアの持続的な活性化を目指すために「BE UNITED構想」を策定し、一つひとつの街づくりにおいて具現化しています。



「KAMEIDO CLOCK」(左)と、「ブラウドタワー亀戸クロス」(右)

### 地域・住民の声を活かした街づくり

### BE UNITED構想

野村不動産が掲げる「BE UNITED構想」とは、「自分たちが暮らす街への愛着や誇りが、街をより良く育てゆく原動力になる」という「シビックプライド」の考え方を基に生み出された街づくり構想です。第1号案件の「プラウドシティ日吉」では、当社が保有する共有部の一部を地域に開放し、イベントや習い事の場として活用していただくことで、地域全体のコミュニティ形成を促進。第2号案件の「亀戸プロジェクト」でも、街区計画の段階から地域の方々と「街づくり協議会」で議論を重ね、敷地と街との連続性や広がりを大切に開発を進めました。マンション事業などを通じて培われてきた「地域や住民の声を聞く力」を発揮しながら、地域密着・住民が主体の街づくりを行っています。

## KAMEIDO PROJECT

経済産業省「超高層ZEH-M実証事業」※ブラウドタワー亀戸クロス ゲートタワーのみ

※JV事業

東京都江東区亀戸において、総敷地面積22,989.26㎡の用地を開発。住宅棟「ブラウドタワー亀戸クロス」と商業施設「KAMEIDO CLOCK(カメイドクロック)」が、2022年春に完成しました。



「ブラウドタワー亀戸クロス」(左)と、「KAMEIDO CLOCK」(右)

### 地域の人々の愛着が詰まった土地を受け継いで次世代につなぐ

本敷地は1939年～1993年まで、モノづくりの拠点として、第二精工舎(現・セイコーインスツル)の東京工場が存在していました。その後、工場閉鎖に伴い、地元の方にも愛される商業施設「サンストリート亀戸」に生まれ変わりました。イベントの聖地、アイドルの聖地、コトづくりの拠点として地域の方に長らく愛されていましたが、2016年3月31日に惜しまれつつも閉館となりました。



2016年に閉館した「サンストリート亀戸」

### □ 持続可能なまちづくりの実現

### コミュニティ形成と新たな価値創出を街づくりのコンセプトに掲げる

開発前から地域の課題としてクローズアップされていた「生活利便施設の不足」、また「児童数の急増」を解決すべく、行政や地域の方々と協議を重ねて「亀戸六丁目まちづくり方針」を策定。地域共生という大きなテーマの下、「地域の抱える課題を解決し、多様なコミュニティの形成や地域の未来を見据えた価値創出を目指す「住」「商」「学」「広場」の複合開発」という街づくりの基本コンセプトが定まり、それぞれの計画における柱となりました。



地域社会と共に成長する街づくりへの仕掛けの一環として、地元小学校で行う授業プログラム「まちをみるめ」を、事業敷地に隣接する区立第二亀戸小学校において実施

## ■ 地域コミュニティの活性化



### 新旧住民や、この街で働く人、訪れる人が交流し 地域コミュニティを創り出すための仕掛けづくり

「自分たちが暮らす街への愛着や誇りが、街をより良く育てゆく原動力となる」という「BE UNITED構想」の考え方は、亀戸プロジェクトにおいても具現化。かつて同じ場所に立地していた商業施設「サンストリート亀戸」が担っていた、地域の方々が集い、交流する場としての機能を受け継ぎ、敷地内に設けられた広場ではさまざまなイベントを開催し、住まう人・働く人・訪れる人の交流を促進しています。また、「BE UNITED構想」を実現するための仕組み「Be ACTO」(下記参照)を、亀戸プロジェクトにおいても導入。多目的スペース「まちのリビング」では、お子様を安心して遊ばせることができる部屋や、リモートワーク用の個室ブースなど、ご入居者様のみならず地域住民の皆様にもご利用いただけます。こうした新旧住民をつなぐ新たな地域コミュニティづくりのお手伝いを通じて、「暮らしの中の小さな豊かさ」創造に取り組んでいます。

### 下町文化と新しさが融合した 他に類を見ない独創的な商業施設を目指して

野村不動産として過去最大級の規模となる商業施設には、これまで展開してきた既存のブランド名を冠することなく、新たに「KAMEIDO CLOCK(カメイド クロック)」と命名しました。このネーミングには、「地域に住まう皆様と共に“亀戸”の記憶を紡ぎ、新しい“時”を刻む生活創造拠点を目指す」という私たちの想いが込められています。2022年4月開業時のテナント数は計136店舗。食品や衣料品、家電などの大型店舗を核に、衣食住を包括的にサポートできる店舗で構成。また「カメクロ横丁」と名づけ、古き良き下町をイメージした一角では、下町ならではの食文化を活かして賑わいを創出しています。敷地内には、地域に開かれ、イベントなどを催すことのできる広場を配置しました。



カメクロ横丁

## BE ACTO

Be ACTO 亀戸

コミュニティの形成・活性化によって地域や街の価値を高める「エリアマネジメント活動」の一環として、野村不動産では地域住民の方々为主体となって活動する仕組み「Be ACTO」を支援・推進しています。活動やイベントの拠点となる「場」、仲間づくりをお手伝いする「人」の提供などを通じて、地域活性化をサポートしています。



イベント風景

## ■ 環境負荷の低減

### 大切なお客様に長く住み続けていただくために環境負荷の低減と快適性の両立を実現

住宅棟「プラウドタワー亀戸クロス」には、野村不動産の床空調システム「床快full」を導入。高断熱化やエアコン・全熱交換型換気の採用により、省エネ性を高めつつ、住戸全体を快適な温度に保つことで居住性も高めています。また、キッチンの位置を変えられることでメンテナンス・更新性を高めた「Mi-Liful(ミライフル)」、建物の長寿命化で大規模修繕の周期を延ばす「アトラクティブ30」、マンション全体のエネルギーをマネジメント

するシステム「enecoQ(エネコック)」など、環境負荷低減を見据えた取り組みが行われています。これらの取り組みが評価され、プラウドタワー亀戸クロスが、経済産業省「超高層ZEH-M(ゼッチ・マンション)\*実証事業」に採択されました。

\*ZEH-M(ゼッチ・マンション):外皮の断熱性能等を大幅に向上させ、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現し、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロを目標としたマンション。採択はプラウドタワー亀戸クロス ゲートタワーのみ。

床快full  
(ゆかいふる)

Mi-Liful  
ミライフル

アトラクティブ30

enecoQ  
エネコック

### 脱炭素や生物多様性への取り組みでも 地域ナンバーワンの商業施設を目指す

商業棟「KAMEIDO CLOCK」においても、環境負荷低減に向けて、さまざまな取り組みが行われています。エネルギー供給では、コージェネレーション(熱電供給)システムを導入。商業施設で使用する電力を施設屋上に設置した発電機で生み出し、その際に生じる熱を回収して給湯や暖房に利用しています。ピークカットによって、地域の消費電力を抑制することにも寄与。このシステムの採用によってエネルギーが効率的に使用でき、CO2排出量の削減効果が期待できます。また生物多様性創出への取り組みとして、敷地全体で緑化率40%を実現すると共に、建物の壁面緑化や屋上緑化も実施。都市空間においては貴重な、緑豊かな空間を確保しています。

KAMEIDO CLOCKにおける、  
環境負荷低減の取り組み(一例)

- コージェネレーションシステムの導入
- EV車用の急速充電器導入
- 環境認証取得(BELS-DBJ)
- 雨水再利用施設(外構灌水など)
- 豊かな緑と広場の併設
- 総合設計制度の取組み

### BE UNITED構想の第1号案件

プラウドシティ日吉

#### 地域の方々と伴走しながらオープンな地域コミュニティを共創

横浜市港北区日吉の大規模多機能複合開発「プラウドシティ日吉」において、「Be ACTO日吉」の立ち上げを推進。共用スペース「まちのリビング」「まちのワークスペース」「まちのスタジオ」の“場所”創出や、イベントなど“コト”への協力を通じて、地域の方々と伴走しながら、オープンな地域コミュニティの形成と活性化を支えています。



まちのリビング



プラウドシティ日吉

# 野村不動産の街づくり-2

## 東京湾岸部の景観を一新するオフィス・ホテル・商業施設・住宅の一体開発

街のあり方、働き方、楽しみ方、暮らし方。理想の追求を妥協せず  
真っ直ぐに見つめ、TOKYOの新しいウェルビーイングを描きます。

### SHIBAURA PROJECT

国家戦略特別区域計画の特定事業

※JV事業



東京湾岸部の景観を一新し、  
空と海、世界へひらかれた街で、  
人と社会の未来をつくりだす

1984年竣工の「浜松町ビルディング(旧東芝ビルディング)」建替による大規模複合再開発を、東日本旅客鉄道と共同で推進。当社グループのノウハウを結集しDXの活用や環境性能の向上、健康への配慮など、さまざまな要素を織り込んだ計画となっています。世界的建築家 横文彦氏を設計者に迎え、東京湾岸部の新たなシンボルとして国際ビジネス・観光拠点を創出。ラグジュアリーホテルブランド「フェアモント」が日本初進出します。また「自社施設等での創電」による再生可能エネルギーと「カーボンニュートラル都市ガス」をはじめとする最新の省エネ・省CO2技術の導入により街区全体でのCO2排出量実質ゼロを実現します。



1 | 芝浦プロジェクト完成予想図 2 | Hi-NODE TOKYO HiNODE PIER 3 | 浜松町ビルディング(旧東芝ビルディング)

#### 芝浦プロジェクト概要

区域面積	約 47,000㎡
延床面積	約 550,000㎡
主用途	オフィス・商業・ホテル・共同住宅・駐車場他
階数/高さ	S棟:地上43階・地下3階 N棟:地上45階・地下3階
着工および竣工(予定)	S棟:着工:2021年・竣工:2025年 N棟:着工:2027年度 竣工:2030年度



完成予想図



都心の利便性と空と海を有する芝浦エリアの立地を活かし、働き方や働く環境に求められる価値観が変化した今の時代に寄り添う新たな働き方「TOKYO WORKation(トウキョウ ワークーション)」を提案。さらに自然との共生・地域文化の育成・地域のレジリエンスをテーマに、サステナブルな開発を実践します。一方、エリア全体の賑わいを創出する関連事業として日の出ふ頭小型船ターミナル「Hi-NODE(ハイノード)」を整備。東京の更なる国際競争力の向上に貢献すべく、未来につながる街づくりに取り組んでいます。

### 「TOKYO WORKation(トウキョウ ワークーション)」 都心におけるワークスタイルの新たな選択肢 空・海・緑を感じる新たな働き方を提案

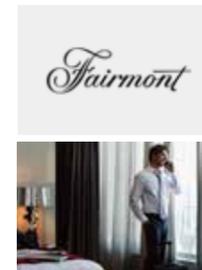
周辺環境を活かしたウェルビーイングなオフィス専有部や、快適に過ごすことができる共用部に加え、施設内のホテルや商業施設、徒歩圏内にある様々なスポット等から好みのワークスペースを選択できる就業環境を用意。働く人々のパフォーマンスや従業員エンゲージメント向上につながり、また周辺部を含めたエリア全体を一つのワークスペースとして捉えることが可能になります。「ビジネスの中核である東京都心で働くこと」と「空と海から得られる開放感」が融合し、自分に合ったスタイルで働くことが実現します。



完成予想図

### 欧州最大手のホテルグループ・アコーによる ラグジュアリーブランド「フェアモント」日本初進出

「フェアモント」は1907年の創業以来、世界に80を超えるホテルを展開。歴史と伝統のある、地域から敬愛されるホテルとして知られています。「フェアモント東京」の開業は2025年度を予定。ワーカーに対してサービスを提供することも検討し「TOKYO WORKation」の一翼を担う予定です。



### 野村不動産グループは、 本社機能を2025年「芝浦プロジェクト」S棟へ移転

野村不動産グループの2030年ビジョン「まだ見ぬ、Life & Time Developer へ」の実現に向けて、その基盤となる組織、そして社員一人ひとりが継続的に成長していく必要があると考えています。そこで、本社移転を通じて、「芝浦プロジェクト」が有する高いポテンシャルを活かし、これまで以上にチャレンジングな組織風土の醸成と組織と社員のパフォーマンスの最大化を目指していきたいと考えています。

# 野村不動産の開発力

街の持つポテンシャルを最大化するために  
その土地独自の価値を高め、新たな魅力を創造します。



「亀戸プロジェクト」建設中の様子

多彩な開発実績をもとに  
その土地の可能性を広げ  
資産価値を向上する

一つとして同じものが存在しない不動産において、土地ごとに最適な提案を行い、資産価値を高めるとともにその土地の持つ課題を解決していくこと。野村不動産はマンションやホテル、オフィス、商業施設、物流施設など様々なアセットにおける多様なブランドと、これまでの実績のもとに培われたグループ連携による多彩なアイデアで、皆様の想いに応えます。



「ブラウドタワー名古屋栄」開発前



「ブラウドタワー名古屋栄」(テラスせ納屋橋)竣工時

## 最適な事業手法で、土地の価値を最大限に引き出す

### 市街地再開発事業

ブラウドタワー金町



市街地再開発事業は、駅前広場・道路などの公共施設整備や木造密集地域の不燃化など、永年にわたり地域が抱えている課題を解消し、安心・安全な「まち」として再生するプロジェクトです。当社では再開発地区だけではなく、地域の発展にも貢献できる街づくりを実現するために、行政協議や権利者合意形成などのご支援を当社社員が地元密着の体制で取り組んでまいります。

### マンション建替方式

桜上水ガーデンズ  
※JV事業



マンション建替の一番の課題は建物の老朽化や耐震強度不足など様々。また、なるべく多くの余剰床を生み出すことが必要となります。野村不動産は業界トップクラスの建替実績とノウハウを活かし、総合設計の活用・隣地共同化・地区計画等の手法を用いて経済的・建築計画的にも皆様にご満足いただける建替計画をご提案します。

### 等価交換方式

ブラウドシティ東雲  
チャンネルマークス



土地オーナー様から所有地を出資いただき、野村不動産の出資によってその土地に最適な建物を建設。オーナー様には土地の評価額に相当する区分所有権をお戻しします。野村不動産は最適な土地活用のあり方を皆様と一緒に考えるとともに、建物完成後の管理・運営に関するノウハウを活かしオーナー様をサポートします。

### 定期借地権方式

ブラウド苔菜園  
※JV事業



土地の賃貸借期間を定め、期間満了後は土地が返還されるため、少ないリスクで土地活用ができます。野村不動産が建設費や事業経費を負担し定期借地権付きのマンションなどを建設し分譲、ご入居者からはオーナー様に地代が支払われます。オーナー様の多彩な要望を満たす提案により、価値ある土地活用を実現します。

## 不動産開発を通して、 地域の課題を解決し、新しい価値を創出する

多様な不動産開発実績と豊富なノウハウを活かし、開発初期から地域の課題を共有し、街づくりを進めます。

- 災害への脆弱性が懸念される木造密集地域の不燃化
- ペDESTリアンデッキ設置などの駅前整備
- 街路整備、貫通通路等の形成による利便性向上
- 地域貢献施設などコミュニティスペースの形成

etc

1 | 貫通通路 ブラウド杉並方南町

2 | 駅前整備 ブラウド府中ステーションアリーナ

3 | 木密地域不燃化

ブラウドタワー東池袋





## 住宅

上質な住まいにこだわり続け  
 住むほどに愛される  
 生涯品質の住環境を提供



- 1 | プラウド恵比寿ヒルサイドガーデン
- 2 | プラウド練馬中村橋マークス
- 3 | プラウドシティ東雲キャナルマークス
- 4 | プラウドシーズン成城コート

野村不動産の強みは、グループ力を活かして用地取得から販売・管理までを行う“製販管一貫体制”です。その基礎になるのは、住まいの品質を守り高めるための数百ページにも及ぶマニュアルやルールブック。60年以上にわたる住まいづくりの歴史の中で培ってきた知識や経験は、日々進化を遂げながら継承されてきました。変わらずこだわり続けているのは、暮らし始めた瞬間から、その先もずっと住むほどに豊かさの実感が深まる、たった一つのかげがえのない住まいづくり。また、これまでに培ってきたグループ独自のノウハウをもとに、「野村不動産グループカスタマークラブ」をはじめ入居後もお客さまの暮らしを多面的にサポートする独自のサービスを展開。さらに住まいづくりにおいてハイブリット型リノベーションや木質建築、ZEHなどサステナビリティへの取り組みに力を入れています。多機能でサステナブルな街づくりとコミュニティの提供を目指し、マンションの建替えや再開発事業などさまざまな形でお客さまの願いや想いに応えていきます。

## PROUD

新築分譲マンション  
ブラウド



- 1 | ブラウドシティ東雲キャナルマークス
- 2 | ブラウドシティ武蔵野三鷹
- 3 | ブラウドシティ吉祥寺

お客様の未来を想い、  
製造・販売・管理の一貫体制で  
たったひとつの住まいづくりを

2002年に誕生した野村不動産のマンションブランド「ブラウド」は、理想の住まいづくりを追求する上で、守り続けていることがあります。野村不動産グループによる製造・販売・管理の一貫体制でお客様に寄り添い続けるということ。着工から竣工まで数百の項目を専門のスタッフがチェックし、さらに多くの検査を行うことで住まいの品質維持に取り組んでいます。また、竣工後のアフターサービスも野村不動産自らが責任を持って行う体制をとり、入居後は「野村不動産グループカスタマークラブ」などにより多面的にお客様をサポートしています。住まいの完成も、お客様の入居もゴールではなく、スタート。日々、挑戦しながらたったひとつのかけがえのない住まいづくりに取り組んでいます。



## PROUD SEASON

新築分譲一戸建て  
ブラウドシーズン

ブラウドシーズン成城コート

美しさや安心。  
そして住むほどに愛着を育む  
街並みづくり。

野村不動産の一戸建て「ブラウドシーズン」は、いつまでも、どなたにも快適な暮らしをお届けするために、お客様の声に耳を傾け商品企画を行っております。住むほどに深まる愛着、使い込むほどに馴染む風合い。外観はもちろん、樹々の一本一本、建物の細部に至るまで吟味し、時を重ねるほどに深みを増す住まいを創造しております。また、人とその地によって培われてきた街それぞれの趣。既存の街との調和を図りながら、個性を纏った街並みを創ること。その邸に住まう方には誇らしく、街の方々にも親しまれる美しい街並みを描き出します。

## PROUD FLAT

都市型賃貸マンション  
ブラウドフラット

- 1 | ブラウドフラット中野
- 2 | ブラウドフラット両国サウス



“人生を自由に、都市生活を自在に”楽しむ人に  
ブラウドのノウハウを活かした都市型賃貸マンション

住まうこと＝ライフスタイルそのものを上質にするデザイン。「ブラウドフラット」が考える「デザイン」とは、目に見える造形の美しさに留まらない、住み心地やプランニングなど「住まい手の生活に関わるすべて」を意味します。目指したのは、その街に住まう人のライフスタイルを第一に考えた、機能的で暮らし心地のよい環境づくり。建築・設備・防災・セキュリティの細部までへのこだわりに加え、ディテール・立地環境・機能性といった付加価値を与えた一邸は、都市に生きる人の多様な生活スタイルをゆったりと満たします。



健康増進型・  
賃貸シニアレジデンス  
オウカス  
オウカス 日吉

**これからの人生を謳歌するために  
健康増進型・賃貸シニアレジデンス**

利便性の高い立地に上質な建物と豊かな時間が過ごせる多彩な共用施設を備え、「運動」「食事」「コミュニティ」「医療介護連携」の4視点から、心身の健康に寄与する「オウカス・ウェルネスプログラム」を提供。健康寿命の延伸を通じて、ご入居者様が楽しく、安心・安全に過ごせる毎日を支援します。

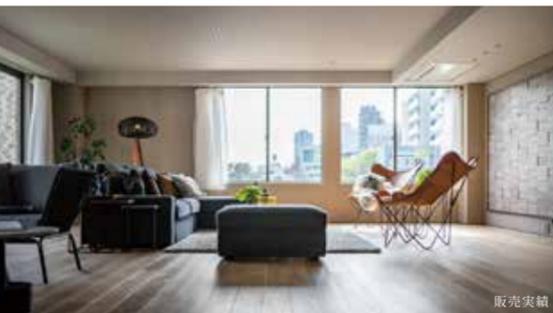


郊外型新築分譲マンション  
オハナ

オハナ新所沢デュアレ

**家族の時間を育む  
上質な郊外型マンション**

郊外型新築分譲マンションブランド「オハナ」。幅広い世代のお客様へ、快適で安心できる住まいを魅力的な価格で提供することを信念としています。建物設計や長期間のアフターサービスなど心地よい暮らしのための基盤づくりをトータルに提案していきます。



**リノベーション**

買取再販型マンション

**長年の技術と経験を活かし  
高品質の住まいへバリューアップ**

クロス貼替・設備交換など「住まいの改修」のみならず、性能向上や間取り変更など新しい付加価値に加え、ライフスタイル、家族構成、趣味趣向に合わせた住まいづくりこそがリノベーションであると捉え、皆様の大切な住まいを新たな人・家族・未来へとつなぎます。

**持続可能な社会の実現へ**

**脱炭素**

再生可能エネルギー電力等の採用によりCO2排出量実質ゼロを実現する「(仮称)向ヶ丘遊園集合住宅計画」等、断熱・省エネ・創エネでエネルギー収支ゼロを目指す住まいづくりを推進しております。



(仮称)向ヶ丘遊園集合住宅計画

**木質化への取組み**

建物建設時のCO2排出量の削減などの観点から木材利用を推進。なかでも国産木材活用は、森林サイクル保全による自然災害防止、生物多様性確保への寄与等、当社グループが目指す持続可能な街づくりにも大変有用であり、幅広い分野で推進しています。



ブラウドシティ伊丹

**太陽光発電導入(戸建分譲住宅)**

東京電力エナジーパートナーが提供する「エネカリプラス」を活用し、「ブラウドシーズン」にメガソーラー発電と同規模の太陽光発電(総発電出力1,000kW)を実現する「バーチャルメガソーラー」を国内初導入。首都圏における省エネ・創エネを行う「電力の地産地消」の取り組みとして推進します。



太陽光発電搭載戸建



**マンション建替**

**マンション事業で培った  
経験と実績で  
大切な暮らしを未来につなぐ**

日本全国に築年数が30年を超えるマンションは250万戸あるといわれ、それらの耐震強度不足や老朽化などの課題をいかに解消していくかが社会問題となっています。野村不動産では、これまで培ってきた街づくりのノウハウをもとに、権利者の方々や設計事務所・コンサルタントなどの事業関係者と共に、一つのチームとなり、皆様のご希望やお悩みに向き合い、愛着ある住まいへの想いに寄り添い、安心して住み継ぐ住まいの実現に取り組んでいます。今後も積極的にこの社会的な課題に取り組み、安心で安全な住まいをご提供してまいります。

ブラウドシティ 阿佐ヶ谷 ※JV事業

**地方中核都市への展開**

**コンパクトシティ化のニーズを捉え、地方中核都市マーケットへ進出**

地方創生や人口減少、高齢化社会を見据えたコンパクトシティ構想が国主導で進められる中、特に地方都市においては「持続可能な街づくり」「都心居住」「コンパクトな街づくり」が急務となっています。このような社会的要請を踏まえ、野村不動産ではこれまでに培った住まいづくりや街づくりのノウハウを活かし地方中核都市における良質な住宅の安定的な供給や駅前再開発を推進しています。今後も地元関係者・行政の皆様と協力し細かな対応ができる体制を構築することにより、地方中核都市における街づくりに積極的に取り組んでまいります。



左 | ブラウド宇都宮  
右 | ブラウドつくば

## ハイブリッド型 リノベーション

持続可能なストック社会へ  
最新技術を活用し  
価値あるものを継承

プラウド代々木上原フォレスト

1984年に建設されたマンションを、最新技術により居住性能を高めつつ容積緩和を活用して増築した、日本初のハイブリッド型リノベーション「プラウド代々木上原フォレスト」。課題となったのは、「耐震性」「住環境」の向上と、増築による「デザイン調和」でした。躯体調査を行い、中性化の進行状況から、65年の残存躯体耐用年数を証明。建設当時の施工を請け負った竹中工務店が、今回の改修工事を実施しました。特に既存棟の再生では、高度な技術力を活かし、風合いを残しながらも最新の居住空間を実現しました。既存棟のクラシックな外観とは対比的に、洗練された増築棟により、デザインの調和を図りました。民間デベロッパーでは初めて、既存住宅における長期優良住宅認定を取得しています。重厚な意匠や厳選された素材、成熟した緑は現代では得難い価値です。「経年でしか得られない価値の継承」と「居住性能の確保と安全性の証明」を共存することで新しい再生方法を確立。「価値あるものは永く遺す」という本質を追及しています。



## 木質系構造部材 使用の高層建築

住むことが環境への貢献になる  
木を活かす先進技術で集合住宅に新たな一歩を

プラウド神田駿河台

建物建設時のCO2排出量の削減などの観点から、野村不動産グループでは、「国産・認証木材」の使用を推進しています。中でも国産木材活用は森林サイクル保全による自然災害の防止や生物多様性確保への寄与等、持続可能な街づくりに欠かせないと認識しています。集合住宅での木造への取り組みは、「プラウドシティ伊丹」の共用棟への採用から始まりました。2020年には竹中工務店とともに柱・壁など構造部に国産木材を用いた木質系構造部材を使用した「プラウド神田駿河台」を発売。さらに内装材にも国産木材を使用することで、森林資源の循環による地球環境維持への貢献と、居住者の健康増進に寄与する居住空間を提供します。今後も「環境と未来」を見つめた住まいづくりを通して持続可能な社会づくりに貢献していきます。

## ZEH

経済産業省  
「超高層ZEH-M(ゼッチ・マンション)  
実証事業」

プラウドタワー亀戸クロス ゲートタワー



当社グループは、総合的な環境負荷低減の観点から分譲マンションにおけるZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の開発に取り組んでいます。経済産業省「超高層ZEH-M(ゼッチ・マンション)実証事業」は、「プラウドタワー亀戸クロス ゲートタワー(2020年度)」、環境省「高層ZEH-M(ゼッチ・マンション)支援事業」は、「プラウド神楽坂ヒルトップ(2020年度)」、「プラウドシティ武蔵浦和ステーションアリーナ(2020年度)」、「プラウド武蔵新城ステーションマークス(2021年度)」が採択されました。





## オフィス

働き方の多様化に伴い、  
用途に応じて複数オフィスを組み合わせて  
生産性を高める方法を提供



- 1
  - 2
  - 3
  - 4
  - 5
  - 6
- 1・6 | H!T Lab powered by point0  
2・3 | 東京虎ノ門グローバルスクエア ※JV事業  
4 | PMO日本橋江戸通  
5 | H!O 虎ノ門

企画開発や設計監理、テナントの誘致から運営・管理まで、オフィスの新たな価値を創造するビルディング事業。社会ニーズの変化にも呼応したオフィスとして、クオリティ・スモールオフィス「H!O(エイチワンオー)」、サテライト型シェアオフィス「H!T(エイチワンティー)」を展開。都心部大型開発によるオフィスの拡充とともに、商品開発力と総合力を活かした多様な働き方にワンストップで対応できるオフィスポートフォリオを構築。さらにDBJ Green Building認証をはじめとする環境認証を全物件において取得を目指す取り組みを実施しています。培ってきたノウハウに基づいた商品開発力と総合力を活かし、立地・デザイン・内装・サービスまで含め「すべての人にとって価値のあるオフィスづくり」を追求し続けます。

東京圏国家戦略特別区域に  
「虎ノ門」駅直結の  
国際的なビジネス交流拠点

東京虎ノ門グローバルスクエア

※JV事業

2015年6月「東京圏国家戦略特別区域における国家戦略都市計画建築物整備事業」として、内閣総理大臣の認定を受けた再開発事業。2020年、東京メトロ銀座線「新橋」駅直結とする大規模オフィスビルとして竣工しました。近接する「新橋」駅や「霞が関」駅と形成する主要なビジネスエリアにおいて、臨海部や国際空港へのアクセス性が高く、国際的なビジネス拠点として機能強化に寄与しています。また周辺建物の老朽化や隣接する「虎ノ門」駅の混雑といった街の課題の解決にも取り組み、プラットフォーム拡幅などによる安全性と利便性の高い歩行者ネットワークの形成、災害インフラの整備による高度な防災都市づくりへ貢献しています。



都市再生特別地区内に  
歴史的資産を継承しながら  
新しい日本橋の価値を創造

日本橋室町野村ビル

江戸時代に五街道の起点として発展し、400年を超える歴史を持つ日本橋。「日本橋室町野村ビル」は周囲の歴史的建造物との調和を図るとともに、省エネルギー対策やグリーン電力の購入、屋上緑化など、CO2増加率の抑制をあらゆる機会を通じて実施。エコロジーで安全な未来型の街づくりを実現しました。東京メトロ「三越前」駅直結。地下1階から地上9階の商業店舗ゾーンは「YUITO」と名付けられ、各種店舗、ビジネスフロア、サービスゾーンを備えた複合施設となっています。アクセスのよさを最大限に活かしたビジネス拠点と商業・サービス拠点の機能が調和した価値を日本橋に刻んでいます。



「人間中心の都市づくり」がコンセプト  
高度情報化社会対応ビジネスステージ

横浜ビジネスパーク (YBP)

相鉄線「天王町」駅徒歩4分、インテリジェント・シティとして先進の設備・機能を備えた「横浜ビジネスパーク (YBP)」。総開発面積130,000㎡の広大な敷地に憩いの公園「ペリーニの丘」を3つのタワー棟と低層棟が囲むように配置されています。オフィスや研究施設のほか飲食や医療の集まる商業施設やスポーツクラブ「メガロス」など就業と憩いの場がひとまとまりとなったビジネスステージです。



入居者・環境・地球にやさしい  
革新的な次世代オフィスビル

ラゾーナ川崎東芝ビル

「ラゾーナ川崎東芝ビル」では、ビルエネルギー管理システムを活用し、オフィス環境を最適に制御。また空調・照明等での高効率機器の採用等によりCO2排出量を一般オフィスビルの約半分に削減しています。さらに免震構造や72時間のBCPインフラ確保など、防災体制を強化。地域に根ざしたオフィスビルとして、駅前の活性化に貢献すべく利便性・回遊性を高めた動線プランを叶えています。



日本の超高層建築物の先駆け  
技術と英知が集結する基幹ビル

新宿野村ビル

地上50階・地下5階建て、高さ約200mのオフィスフロアを中心とした超高層複合ビル「新宿野村ビル」。日本を代表する超高層建築物が集積する西新宿において6番目となる1978年に竣工した建築物です。時代のニーズに対応するため設備や施設を改修しながら常に価値のある先進的なビルとして進化を続けています。また高層建築物の中でも「新宿」駅から比較的近いロケーションであり、地下道で直結されるなどアクセスもスムーズ。約50社の入居テナントと約40店が集う商業ゾーンが複合し、「新宿野村ビル」は常に賑わいと活気に満ちています。



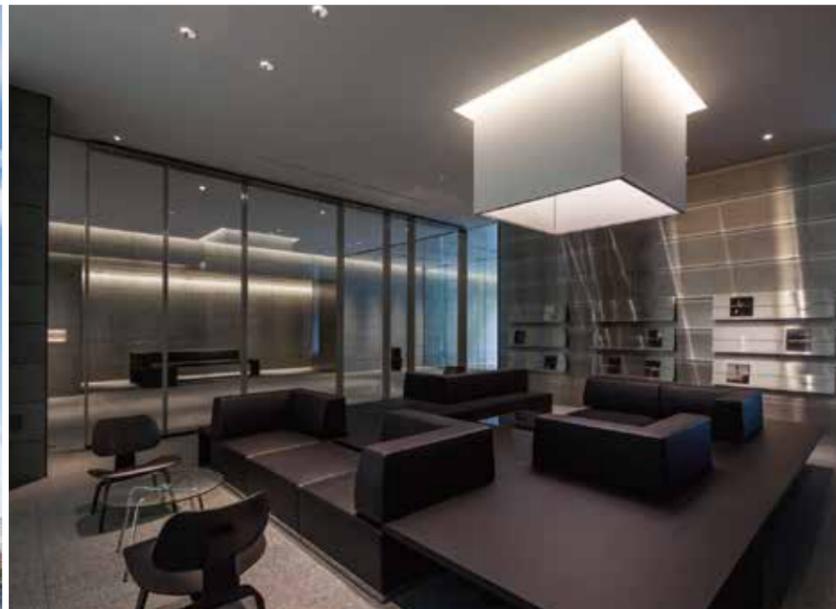
中規模ハイグレードオフィスビル  
PMO

### ニーズに応えるために生まれた プレミアム・ミッドサイズ・オフィス

中規模サイズでありながら、大規模ビルと同等の機能性とグレードを併せ持つオフィスビル。ワンフロア・ワンテナント設計を基本とし、効率性と独立性・安全性を確保しています。またセキュリティレベルは最高5段階までの設定が可能で、機密情報を扱う企業からも高い信頼を得ています。さらに、ハード面だけでなく各種イベントやサービスを実施し、入居企業様同士の交流やビジネスマッチングの場を提供。開発実績累計は、70件超(予定含む)となり、今後も利用する人の快適性やオフィスビルとしての社会的な意義に真摯に向き合い、時代の新しいスタンダードを創出し続けます。



PMO半蔵門



PMO日本橋江戸通



ヒューマンファースト  
研究所

### 「人」が中心となるオフィス環境や仕事のあり方を考え、広めていく

ビジネスにおける価値創造の源泉は「人」にあるという考えに基づき、個のパフォーマンスがより一層高まる環境づくりや新しいオフィスのあり方について、さまざまな調査研究を通じて探っていく「HUMAN FIRST研究所」。人間の持つ潜在能力を開放(=生産性を最大化)するために企業や有識者とのパートナーシップのもと、必要な知見や視点を探ることを目的として活動しています。多様化するオフィス環境や仕事のあり方を社内や世間に広く発信し、人々の道を拓く手助けとなることを目指します。



第1期活動報告発表会



クオリティ・スモールオフィス  
エイチワンオー

### 一人ひとりが柔軟に、自分らしく働く 「自分の居場所」だと感じるオフィスづくり

「H1O」は、スモールビジネスや大～中規模企業における分室ニーズ等に対応すべく展開する新たなサービス付き賃貸オフィスです。多重セキュリティやきめ細やかなレセプションサービス、個別空調や豊かなグリーンなど、人が心地よく働けるためのデザインを追求。オフィスで働く一人ひとりに寄り添い、「個」のポテンシャルを最大化し社会に変革をもたらし得るスモールビジネスを支援する新時代のオフィスとして、展開しています。

H1O 虎ノ門 ラウンジ

### H1OシリーズにおいてDBJ Green Building認証取得 木造ハイブリッド構造を主要構造部に採用、建築時のCO2排出量削減

H1Oシリーズにおいて、主要構造部への木造ハイブリッド構造の導入を開始。H1O青山にて柱・梁一部の木造化によって、建築時のCO2排出量約21tの削減と木材が成長段階で吸収するCO2約19tの固定を実現します。また、バイオフィリックデザインを取り入れることにより、そこで働く人々の「個」のパフォーマンスを最大化し、快適で心地よい空間を提供いたします。



H1O青山完成予想図(2022年8月竣工)



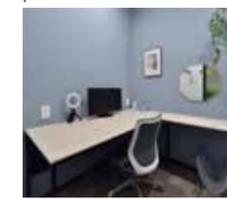
サテライト型シェアオフィス  
エイチワンティー

### 「環境や空間、時間に縛られない」という 新しい働き方をサポートするシェアオフィス

野村不動産が提案する、これからの働き方とオフィスのあり方にフィットした時間貸しサテライト型シェアオフィス。「ヒューマンファースト」の価値観を受け継ぐオフィスブランドとして、「個」に寄り添った「空間・時間」「商品・サービス」を徹底追及することで、働く人、訪れる人、地域の人々に、新しい時代の新しい価値を提供します。首都圏、全国のビジネス都市を中心に、多拠点展開しています。

・会員数:2,583社/約24.3万人 ・拠点数:225店舗(提携店舗含む) ※2022年7月末時点

1 | H1T 二子玉川 オープンスペース 2 | H1T 三軒茶屋 1名用ブース 3 | H1T 相模大野 1名用ブース

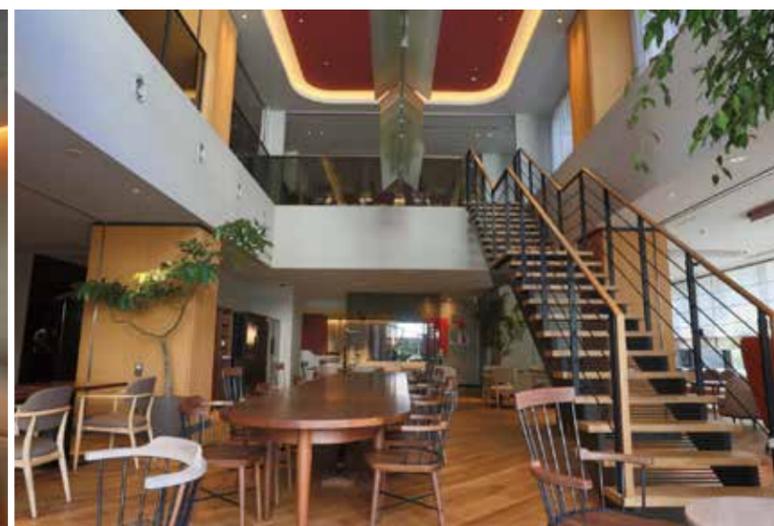
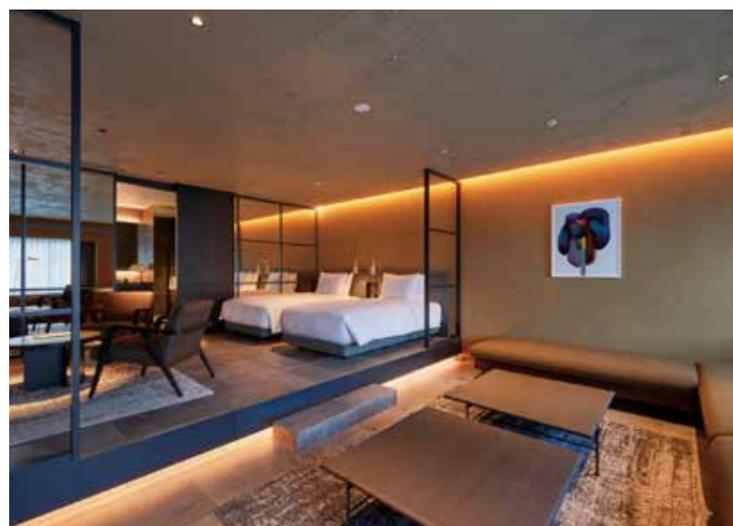


2

3



# 商業施設 / ホテル / 物流施設



お客様の満足度向上を追求した  
高品質な運営やサービスを提供し  
街に暮らしに新たな価値を

「KAMEIDO CLOCK」や「bono相模大野」など複合型商業施設の開発をはじめ、都市型商業施設「GEMS」、サービス特化型商業施設「MEFULL」、地域密着型商業施設「SOCOLA」など豊かな時間を提供する施設計画とサービスにより、施設利用者と出店者双方の満足度を追求する商業施設を展開しています。「宿泊」のニーズを満たすだけでなく、各地域の素晴らしい歴史・文化や地元の人々との交流体験サービスを提案するホテル。デベロッパーとして培ったノウハウを活かし用地情報収集・開発・リーシング・竣工後の運営管理まで一貫体制でソリューションを提供する物流施設を展開。収益性向上や効率化などを実現するとともに、その街の環境をも豊かにしていく施設づくりに取り組んでいます。



- |   |   |                                 |
|---|---|---------------------------------|
| 1 | 2 | 1   SOCOLA 日吉                   |
| 3 | 4 | 2   GEMS HIROO CROSS            |
| 6 | 7 | 3   NOHGA HOTEL KIYOMIZU KYOTO  |
|   | 8 | 4   NOHGA HOTEL UENO TOKYO      |
|   |   | 5   NOHGA HOTEL AKIHABARA TOKYO |
|   |   | 6・7・8   Landport 習志野            |



## KAMEIDO CLOCK

KAMEIDO CLOCK

野村不動産グループの総力を結集  
 亀戸の歴史に、  
 新しい時を刻む生活創造拠点

地域に愛されていた商業施設「サンストリート亀戸」跡地に、新たな商業施設として「KAMEIDO CLOCK(カメイドクロック)」が誕生いたしました。施設名称は、地域に住まう皆様とともに“亀戸”の記憶を紡ぎ、新しい“時”を刻む生活創造拠点になりたいという想いから命名。「LIVE UP! & LOVE LOCAL」をコンセプトに掲げ、さまざまなニーズに応えライフスタイルを支える全136テナントが出店の他、eスポーツ専用スタジオやコミュニティスペース、公式YouTubeチャンネルも開設しました。地域課題を解決し、多様なコミュニティ形成や地域の未来を見据えた価値創出を目指す“地域共生”をテーマにした街づくりの核として、「ココロ躍る時」を提供します。



- 1 | eスポーツ専用スタジオ
- 2 | 公式YouTubeチャンネル「カメテレ」スタジオ
- 3 | カメクロ横丁



bono 相模大野

### ライフスタイルに重点をおいて開発 人の流れを活性化する駅前大型複合施設

小田急線「相模大野」駅前にある大型複合施設「bono(ボノ)相模大野」。野村不動産グループが一体となって街づくりから携わった複合再開発施設で、26階建ての「プラウドタワー相模大野」と約1万2000坪の広さを誇るショッピングセンター「bono相模大野」で構成されます。「ボノ広場」や屋上庭園「saga-niwa(さがにわ)」を設けるなど、地域の人々が毎日足を運びたくなる商業施設を目指すことで周辺住民の交流の場を創出しています。



日本橋室町野村ビル  
 YUITO

### 上質な時間と空間を提供する 商業・サービスゾーン

東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅に直結する「日本橋室町野村ビル」、その地下1階から地上9階に位置するのが「YUITO(ユイト)」です。こだわりの素材と卓越した技術に裏付けされた商品を提供する物販店、匠の味と心のこもった一流のサービスを提供する厳選された飲食店。質の高いビジネスソリューションとして機能するカンファレンス施設「野村カンファレンスプラザ日本橋」、金融店舗やクリニックなどから構成されています。



モリシア津田沼

### 緑と共鳴して潤いを提供する 駅前複合商業施設

JR「津田沼」駅とペDESTリアンデッキで直結した複合商業施設。施設コンセプトは、「“日常のちょっとしたれしい”が満載のショッピングセンター」。スーパーや大型家電、ファッション・インテリア・飲食店など多彩な専門店を誘致。さらに、開放感あふれるテラスやルーフガーデンなど森(緑)と共感できる空間創出によりプラスアルファの潤いを提供します。





地域密着型商業施設  
SOCOLA

**地域ニーズに合わせた店舗を集積  
暮らしに溶け込む地域住民のパートナー  
地域密着型商業施設**

SOCOLA 南行徳

「SOCOLA(ソコラ)」は、「すぐそこにあるCOMMUNITY LAND」を集約した造語。「ちょっとソコラでお買い物」といった親しみやすさも含まれています。住まう方々の利便性を高め、日々訪れたいくなるコミュニティを創出。地域住民の方々の生活を最優先に考えた施設として、そのニーズに合わせたスーパー・物販・飲食・サービス店舗を集積させています。「地域住民のパートナー」となり、親しみやすく愛される施設として暮らしに溶け込むことを目指します。



都市型商業施設  
GEMS

**都市部のオフィス立地・繁華街に展開する、  
こだわりの美味しい飲食店を中心とした  
店舗が集積する都市型商業施設**

「GEMS(ジェムズ)」は、宝石を意味する「GEM」に複数形の「S」を付け、宝石がいくつも集積し「街を幸せにする煌めきを創り出す施設に」という想いが込められています。共通するコンセプトは「大人たちが気軽に普段使いでき、かつ上質な「食」「時間」「空間」をゆっくりと楽しめる施設」。立地ごとに徹底的に調査したニーズを反映させるため、「GEMS」に集められた各店舗は皆、話題性とオリジナリティを兼ね備えています。



1 | GEMS六本木  
2 | GEMS HIROO CROSS  
3 | GEMS 栄



サービス特化型商業施設  
MEFULL

**生活にプラスαをもたらす  
「モノからコト」への消費ニーズに応える  
サービス特化型商業施設**

「MEFULL(ミーフル)」は、「健康・学び・暮らし」の満足度を高めるサービス特化型商業施設です。働き方改革等によるライフスタイルの変化・モノ消費からコト消費への変化等を背景とした「It makes ME FULL of happiness!」がコンセプト。サービス業種を集積し多様化するニーズに応えます。建物は、再生エネルギーの採用や環境認証への積極参加などにより、社会課題にも取り組んでいます。また、当社商業事業のノウハウを活かし、女性やお子様も安心・安全に使っていただける清潔かつ品格ある施設を目指します。

MEFULL 藤沢



**美味しく安心できる飲食提供環境を実現  
食に係わる新たな需要に応える**

DELI STATION X 田町 日経産業新聞賞受賞

コロナ禍における飲食事業者・お客様双方のニーズ変化に対応し、「GEMS 田町」内にデリバリー・テイクアウト店向け施設「DELI STATION X 田町」を開業しました。「ゴーストレストランの見える化」の促進や、より優良な飲食事業者に出店いただくことを通じ、美味しく安心して利用できる飲食提供環境の実現を企図。この取り組みは高く評価され、2021年日経優秀製品・サービス賞 日経産業新聞賞を受賞いたしました。

シェア型クラウドキッチン「DELI STATION X 田町」





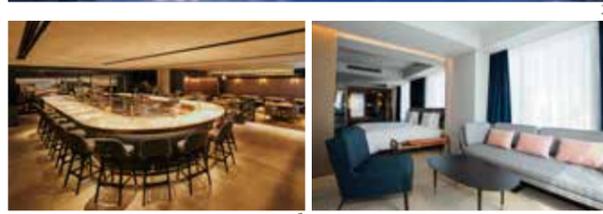
## NOHGA HOTEL

ノーガホテル

「地域との深いつながりから生まれる  
素敵な経験」がコンセプト  
世界と地域を繋ぐコミュニティ型ホテル

ホテルに求められる役割がますます多様化する中、「宿泊」のニーズを満たすだけでなく、お客様を「上質な時間と体験」でおもてなしするホテルづくりを行っています。各地域の素晴らしい歴史・文化や地元の人々との交流といった野村不動産のホテルならではの体験をご提案することを通じて、その地域の多彩な魅力を世界に発信していくことを目指しております。ホテルを起点とする「未来へつながる街づくり」「人と人、人と街を繋ぐコミュニティづくり」を積極的に推進し、当社自らが商品開発、サービス提供を行っています。

- 1・3 | NOHGA HOTEL KIYOMIZU KYOTO
- 2 | NOHGA HOTEL AKIHABARA TOKYO
- 4 | NOHGA HOTEL UENO TOKYO



### 地域の素晴らしい歴史・文化や 地元の人々との交流など見て、触れて、感じる時間を

ホテル内でその地域の文化を感じていただけるよう、地域の職人やデザイナーをはじめ各分野の今を創るスペシャリストたちとのコラボによるアートや食、音楽、メディテーションなどのクリエイティブ体験を独自にご用意。地域の方々と連携したイベントやワークショップなども定期的に開催。滞在を通じて多様な発見をしていただける工夫を散りばめ、地域と世界をつなげていきます。

NOHGA HOTELでの事例

- 1 | 地元の職人さんがつくる江戸切子。ホテル内で備品として採用。
- 2 | 江戸文化を五感で楽しむものづくり体験イベント「東京銀器」
- 3 | 国際芸術祭「東京ビエンナーレ2020/2021」開催
- 4 | 江戸情緒を堪能するTokyoBikeでの上野の街めぐり



庭のホテル 東京  
HOTEL NIWA TOKYO

### 贅沢さよりも上質さにこだわった 都会の隠れ家

東京を堪能できる利便性の高い立地と、「美しいモダンな和」をコンセプトに日本の美を追究した上質な空間が、国内外のゲストから人気です。美しい中庭を挟んだ和洋2つのレストランからは、四季折々の風景が楽しめます。また、和をテーマにしたホテル独自のイベントにも定評があり、様々な形でホテルライフを提供しています。



庭のホテル 東京

### 持続可能な社会の実現へ

「エコマークアワード2021優秀賞」  
受賞



「リネン類交換不要」カード導入や敷地内の緑化整備推進、環境配慮型商品の活用など様々な「環境配慮への取り組み」が評価され受賞。

「CO2ゼロプラン」導入による  
電力のグリーン化



再生可能エネルギー由来の非化石証書等を活用、実質的に再生可能エネルギー100%・CO2排出量ゼロを実現。

「GBAC STAR™ 認証ラベル」  
取得



国際的な安全・衛生基準を満たす施設に全世界共通で発行される「GBAC STAR™ 認証ラベル」を取得。



物流施設  
ランドポート

**空間提供の領域を超えた  
"付加価値創出"の拠点へ  
絶え間なく人とモノが行き交う「地上の港」**

「Landport(ランドポート)」は、「新しい選択を創造するロジスティクス共創拠点」をコンセプトとする物流施設。首都圏、中部圏、関西圏に開発実績をもち、テナントの満足度を最大限高めるべく事前の情報収集やマーケット調査などに注力し、明確なコンセプトを持ったうえでリーシングを行っています。梁下有効高6.5mの確保や免震装置の設置など、マルチ型物流施設でありながらも、より使い勝手を向上させる為の機能をあらかじめ確保。物流業務の効率性向上の実現とサステナブル(持続可能)な施設を提供しています。また、ロボティクスやICT、搬送機器などの物流関連技術を有する企業各社と連携し、当社が核となって組成する企業間共創プログラム「Techrum(テクラム)」の提供など、様々な荷主・物流企業固有の課題解決へ向けた総合的なソリューション開発を行っています。



- 1 | Landport青梅Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
- 2 | Landport越谷
- 3 | Landport上尾Ⅱ



**物流課題に向けた  
ソリューション開発のための  
企業間共創プログラム「Techrum」**

変化の激しい時代において、1社では解決できない様々な物流の課題に対しハードウェアからソフトウェア、人材派遣、通信、ファイナンスに至る様々な業種のパートナー企業とともに課題解決に取り組んでいます。荷主・物流企業の事業戦略に適した自動化の実現、自動化ソリューションの提供など新たな価値の創造に挑戦。「Techrum」の導入効果検証拠点として「Landport習志野」内に5,000㎡超のソリューションの効果検証スペースを設けています。

Techrum検証風景



**カテゴリー  
マルチ**

**マルチテナント型の要素を残しつつ、  
将来の物流自動化を見据え  
オペレーションの最適化を**

カテゴリーマルチとはマルチテナント型、BTS型それぞれの良さを併せ持つ「第三の選択肢」となりうる物流施設のあり方。利用するお客様の業種(=カテゴリー)を特定することで、オペレーション効率を最大化する物流施設と自動化を見据えた施設設計を実現します。作業効率向上のための設備や業種ごとに必要とされるスペック、雇用環境の充実に向けた対応など様々な内容でご提案します。

- 1 | Landport上尾Ⅱ
- 2 | Landport青梅Ⅱ



**持続可能な社会の実現へ**

**施設の屋根を活用した  
太陽光発電システムの導入**



今後、野村不動産が開発する物流施設全てに対し、太陽光発電設備を原則設置予定。

**DBJ Green Building認証取得**

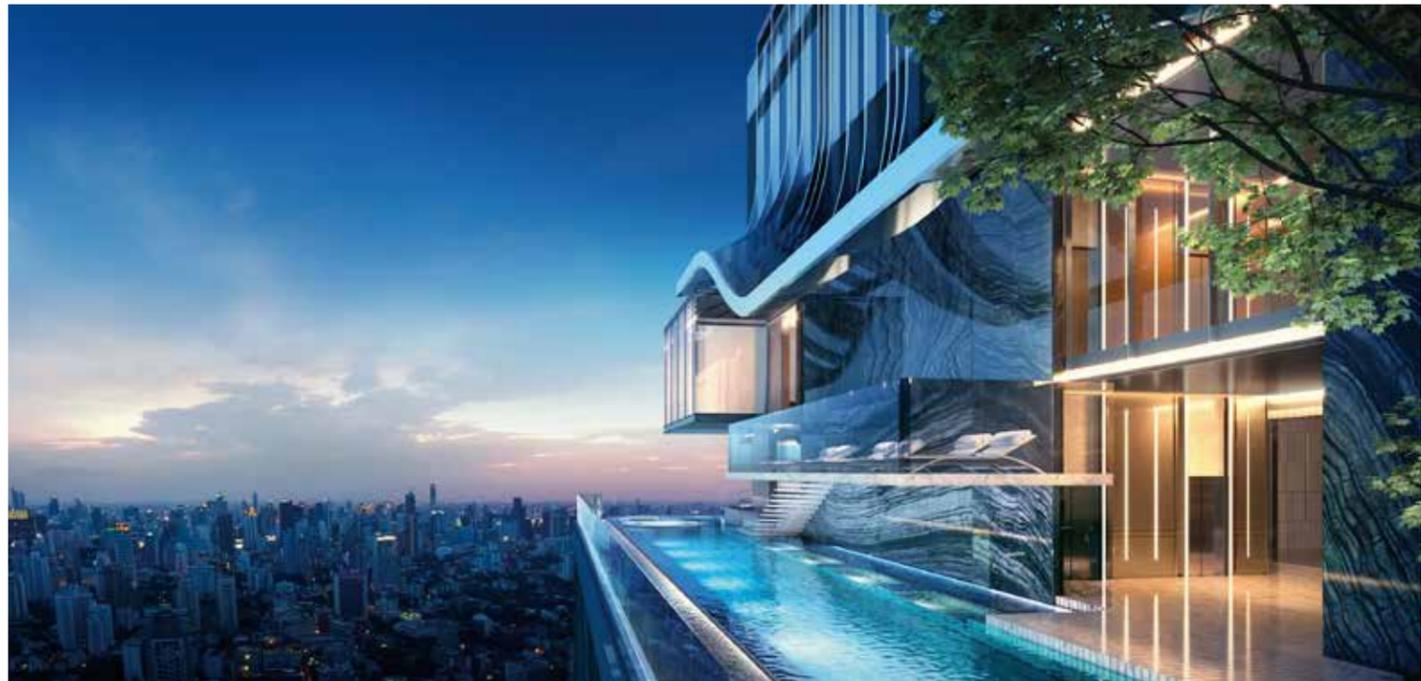


Landport越谷、Landport青梅Ⅲをはじめ、多くの物件にて、DBJ Green Building認証を取得。環境・社会への貢献を推進しています。

**BELS(建築物省エネルギー  
性能表示制度)取得**



国土交通省が制定し第三者評価機関が評価する建築物省エネルギー性能表示制度において認定を受けています。



## 海外

商品企画・サービスのノウハウを活用し、  
成長著しい東南アジア諸国を中心に  
住宅分譲事業・賃貸事業を展開

東南アジア諸国では、より質が高く快適な生活環境を求める志向が高まり、住宅・オフィス市場における量から質への転換期が到来しています。野村不動産グループでは各国の優良企業とパートナーシップを結ぶことにより、現地により深く根ざした継続的な事業体系を構築しながら、タイ・ベトナム・フィリピン・中国などの成長著しい国々で事業を展開。また、既進出国での事業拡大に加え、2021年より英国のオフィス開発事業にも参入。新たな国での事業展開を図り、海外事業全体のポートフォリオを強化します。日本国内で培ってきた開発・運営・不動産関連サービスに関するノウハウの活用や独自のマーケットイン発想を活かして、各国の潜在的ニーズを読み解き、付加価値を備えた商品・サービスを提供しています。



1	2
3	4
	5
	6
7	8

- 1 | タイ/Park Origin Thonglor
- 2 | タイ/Origin 24
- 3 | ベトナム/Midtown
- 4 | 中国/常州II
- 5 | タイ/The Origin PLUG&PLAY Ramindra
- 6 | ベトナム/Ecopark
- 7 | ベトナム/Midtown
- 8 | ベトナム/Grandpark

※掲載のペースは、すべて完成予想図です。



[野村不動産グループの海外ネットワーク]



## Thailand

パークオリジン トンロー

高級住宅街  
トンロー地区  
(ワッタナー区)での  
分譲住宅プロジェクト

完成予想図

地上39階・53階・59階建ての3棟からなる超高層マンションに、50を超える共用施設を設置するとともに、インターコンチネンタルホテルズグループの協力のもと、ホテルライクな24時間管理サービスを提供します。



完成予想図

## Vietnam

Ecoparkプロジェクト

大規模開発事業 Ecoparkプロジェクト内の  
分譲住宅に参画

ハノイ首都圏における敷地約500ha、緑や水辺といった豊富な自然を備えた、住宅・オフィス・商業施設・学校などのタウンシップ開発への参画。コンセプトや配棟計画・デザインなど事業の入口から行った提案が顧客やパートナー企業から高い評価を得ています。



## The United Kingdom

チャリングクロスロード

ロスベリー社との  
グループ間連携による  
英国初の  
オフィス開発

完成予想図

ロンドン中心部ウェストエンドにて、交通利便性が高く近年開発が活発な「トッテナム・コート・ロード」駅至近のビルを、ロスベリー社の英国における豊富な実績を活かして大規模増改築。良質なオフィスビルを提供。



完成予想図

## China

常州市天寧区プロジェクト

中国・常州市不動産開発に参画

中国大手デベロッパーである万科企業との共同事業。発展著しい長江デルタ経済圏の中核都市の一つである常州市の中心部に位置する、約12haの敷地に27棟合計約2,300戸の分譲住宅プロジェクトを推進中です。



完成予想図

フィリピン「ザ・シーズンズレジデンス」  
「International Property Award」にて  
フィリピンの最優秀賞を受賞

三越伊勢丹ホールディングスとフィリピン大手不動産会社Federal Land Incorporatedの3社で共同推進するフィリピン・マニラにおける分譲住宅「ザ・シーズンズレジデンス」が、世界の優れた不動産プロジェクトを表彰する「International Property Award」においてフィリピンの最優秀賞ならびにアジア・パシフィック地域におけるFIVE STAR(最優秀賞候補)に選定されました。日本国内の分譲住宅事業で培った商品企画力、堅牢な構造設計等が高く評価されました。

## Philippines

フィリピンにて合弁会社設立  
持続可能なコミュニティ創出と新たなブランド構築を

2022年4月、フィリピンの大手財閥グループGT Capital Holdings, Inc.傘下のFederal Land Inc.と共に、新合弁会社「Federal Land NRE Global, Inc.」を設立。より強固なパートナーシップを基にしたシナジー効果を追求していくために両社から不動産開発の専門性を持った人材を派遣し不動産開発事業に取り組みます。従来のフィリピンにはない先進技術を活用した独自の街づくりにより、持続可能なコミュニティの創出と独自ブランドの構築をはじめ現地のニーズに合わせた事業を推進していきます。



すべて完成予想図

## KAIZEN活動

国内で培ったノウハウを活かし、各国プロジェクトの  
商品性・品質向上に貢献。新たな価値創造に取り組みます

商品企画から設計・工事・引渡しまでの全ての事業フェーズにおいて、現地ニーズに合わせたKAIZEN活動を実施。プロジェクトの商品性・品質向上を果たし、顧客満足度向上に貢献します。国内で培ったノウハウのもと、新たな価値創造を目指します。



# サステナビリティ

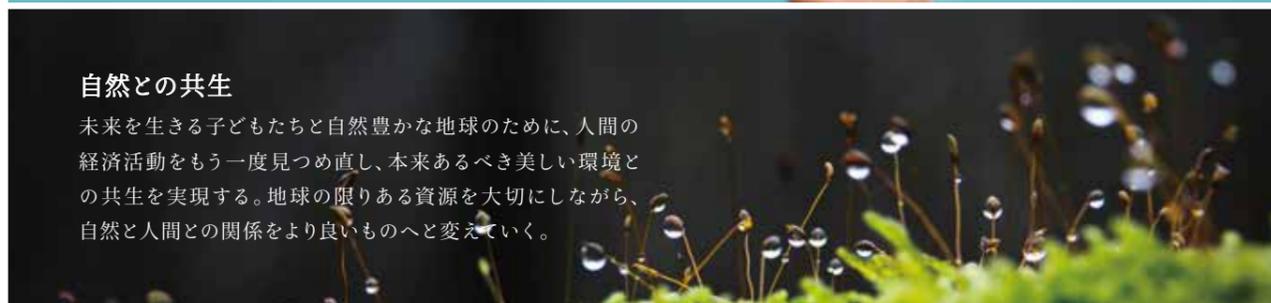
野村不動産グループでは、企業として、持続可能な社会を実現する取り組みをより一層推進していくため、2050年のありたい姿としてサステナビリティポリシー「Earth Pride—地球をつなぐ」を策定。本ポリシーは、当社グループが大切にしたい「人間らしさ」「自然との共生」「共に創る未来」の3つのテーマをベースにしています。

## サステナビリティポリシー(2050年のありたい姿)



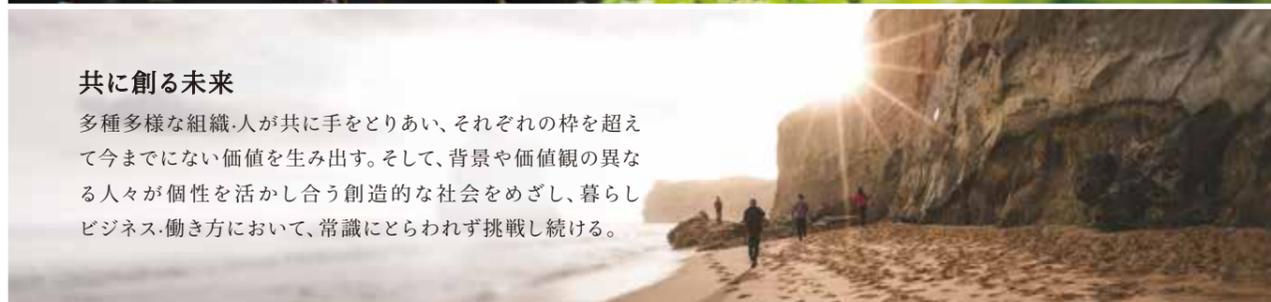
### 人間らしさ

テクノロジーがますます発展し、人々の暮らしと融合する世の中において、人間の存在意義や人の幸せとは何かを問い続ける。人と人がお互いを支えつながり合う、人間らしい暮らしを提供し、誰ひとり取り残さない社会の実現に貢献する。



### 自然との共生

未来を生きる子どもたちと自然豊かな地球のために、人間の経済活動をもう一度見つめ直し、本来あるべき美しい環境との共生を実現する。地球の限りある資源を大切にしながら、自然と人間との関係をより良いものへと変えていく。



### 共に創る未来

多種多様な組織・人が共に手をとりあい、それぞれの枠を超えて今までにない価値を生み出す。そして、背景や価値観の異なる人々が個性を活かし合う創造的な社会をめざし、暮らし・ビジネス・働き方において、常識にとらわれず挑戦し続ける。

## 2030年までの重点課題(マテリアリティ)

サステナビリティポリシーを実現するために、2030年までに特に取り組むべき5つの重点課題(マテリアリティ)を特定。社内・社外の多様な組織や人の共創を推進力として新たな価値創造に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



	重点課題(マテリアリティ)	計測指標(KPI)
社会と社員	ダイバーシティ&インクルージョン	女性マネジメント職層比率 20% 男女育児休業取得率 100% 調達ガイドラインアンケート実施率 80% 人権デューデリジェンスの体制構築
	人権	人権関連研修参加率 100% インクルーシブデザイン※1の商品・サービスの提供 1on1ミーティングの実施率 100%
気候変動と自然環境	脱炭素	CO2排出量35%削減(2019年度比)
	生物多様性	新築物件における省エネルギー性能指標 ZEH/ZEB oriented水準を確保 木質化建物の開発
	サーキュラーデザイン	生物多様性に関する認証取得 建物の長寿命化への取り組み 廃棄物量削減と廃棄物再利用率向上

※1 多様なバックグラウンド・価値観・課題を持つ人々をデザインプロセスに巻き込む手法

## 策定にあたっては、社内外約460名が参加



グループの中堅・若手社員	183名	サステナビリティ専門家
マネジメント層社員	214名	機関投資家、お取引先様
経営層(サステナビリティ委員等)	延べ20名超	お客様など
		合計約40名

この一連の策定プロセスでは、精神的な豊かさ、幸せを提供する、人を大切にする、健康で快適な暮らしの提供、新たな価値を創造するといった考えや意見に多くの賛同を得ており、それらに共通する「人」への思いや共感が集まりました。このことを踏まえて、「社会と社員」に紐づく「ダイバーシティ&インクルージョン」「人権」のマテリアリティを基盤と位置づけ、「気候変動と自然環境」に紐づく「脱炭素」「生物多様性」「サーキュラーデザイン」に寄与する取り組みを、事業において推進してまいります。



# DX

野村不動産グループでは、デジタル技術の活用により、蓄積された顧客データを分析し、継続的な商品・サービスの改善と向上を実現します。また、生産性向上による各事業の成長に貢献してまいります。

「人」を中心としたサービスを提供することで、お客様の日々のQOL向上を目指します。

### DX推進の4つの方向性

**ビジネスのサービス化**  
「土地を仕入れて、販売」を中心とした従来のビジネスモデルからお客様視点でのトータルサービスを提供するサービス型ビジネス指向へ。

**継続的な成長の追求**  
提供するツール・サービスが、絶えずバージョンアップしていくことで変化に追随し、お客様から期待され続ける存在を追求。

**「グループ連携ファースト」思想**  
グループ各社で培ってきたノウハウやデータを共有し連携。総力を結集し、新しい価値を創造・提供する。

**業務のデジタル化・効率化**  
これまでの商品提供ビジネスから長期的な価値を提供するサービス型ビジネス志向への転換。

### DX戦略

デジタルデータを活用した商品力強化 → 顧客基盤 → サービス認知のきっかけ作り → 効率的・利便性が高い新サービスの提供 → コスト削減を実現する生産向上に向けた投資 → サービスの拡充などQOL向上への取り組み強化 → 会員数増加、ロイヤル化、ブランド力の向上 → デジタルデータを活用した商品力強化

### DX推進テーマ

- 乗り合いバスの予約
- ロボット配送 (商業施設→住宅)
- ECサイトの構築 → 住宅リフォーム → インテリア
- 商業施設・ホテル・スポーツクラブ
- スマート化 (スマホアプリ活用、デジタル化)
- シェアオフィス 検索サービス
- 仲介のAI活用
- メタバース
- 生産性向上
- RPA
- AIツール
- 各種業務システム
- データ整備・活用
- クラウド基盤
- 顧客データ
- 新領域 (IoT サービス等)
- 遠隔見守り
- 消費電力見える化
- Maas

### <野村不動産における導入事例>

事業	分類	ブランド名/テーマ名	概要
住宅	スマート化	WILLTAP	オリジナルで開発したスマートマンションアプリを「ブラウドシティ日吉」にて導入・提供する。ワンタップで、玄関の施錠やお湯張り、エアコンの制御が可能。さらに共用施設の予約や、街のインフォメーションもアプリで操作・確認ができる。
	新サービス提供	WONDER STYLE	業界初4つの機能で暮らしを豊かにする多機能型収納サービス。WEBサイトからいつでも簡単に依頼できる手軽さがあり、「預ける」という基本機能に加え、「借りる」「整理する」「任せる」という3つの機能を一元化した収納サービス。
		FUNLIFE	ライフスタイルを提案するアプリを開発し、お気に入りのインテリアをはじめ、様々なご優待やイベント情報を会員様向けに提供している。
	業務効率化	契約書類の電子化	新築分譲マンション・一戸建ての売買契約時において、契約書類の電子化「musubell」を導入。契約手続きの電子化・非対面(オンライン)対応を実現。
オフィス	新サービス提供	HIO	スモールオフィス事業において、顔認証による入退出、アプリによる会議室の予約・照明・空調・CO2の制御・混雑度の確認・情報通知などを実現。
		HIT	サテライト型シェアオフィス事業において、アプリによる会議室の予約・スマートロックによる入退出・情報通知などによって、無人管理を実現。

# ウェルネス経営

野村不動産グループは、職員の心身の健康を何よりも大切にし、すべての役職員が、心身ともに健康で、活き活きと仕事に取り組むことが企業の持続的な成長につながる「ウェルネス経営」を推進しています。

野村不動産グループは、行動指針である「私たちが大切にすること」に、「活き活きと働く、ウェルネスの実現」を掲げ、従業員が心身ともに健康で、活き活きと仕事に取り組むことができるよう「ウェルネス経営」を推進しています。野村不動産においては2020年度よりウェルネス経営全般・ウェルネス・ダイバーシティ&インクルージョン・働き方改革それぞれに重要指標を設定し、ウェルネス経営推進の進捗を測定し、これらの結果をもとに取組体制及び具体的施策の検討を進めております。社員の幸せと企業成長実現のため、より効果的なPDCAサイクルを実践してまいります。



「ウェルネス経営」に向けた各種取り組みが評価され、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2022(ホワイト500)」に認定されました。当制度は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。

### ウェルネス

- 産業医・保健師・看護師から構成される「健康相談室」や外部電話相談窓口の設置による健康相談環境の整備
- メンタルヘルスや生活習慣病に関するe-learning研修「ウェルネスアワー」によるヘルスリテラシーの向上
- 有給休暇取得促進や各種ウェルネス施策の集中取組期間の設定(2018年より毎年12月実施)
- 女性社員や管理職を対象とした研修や生理休暇(有休)の設定など、女性特有の健康課題をサポート
- 禁煙治療費用補助
- スポーツジム利用料の費用補助による継続した運動機会の提供
- 「傷病時短勤務規程」の制定による、仕事と治療の両立支援

### ダイバーシティ&インクルージョン

- 野村不動産グループとして、2030年にむけた重点課題の一つに、ダイバーシティ&インクルージョンを掲げました。互いの違いを尊重しあい、すべての従業員が自分を受け入れられていると感じることができる企業文化を醸成します。そしてすべての従業員がそれぞれの個性と能力を最大限に発揮することで、新たな価値を創造していきます。このダイバーシティ&インクルージョンの推進における考え方を明確にするために、「野村不動産グループダイバーシティ&インクルージョン推進方針」を策定しました。
- 2030年に向けて野村不動産グループとして2030年に向けて以下の5項目を掲げ、達成に向けて推進しています。
  - ① 女性マネジメント職層比率20%
  - ② 男女育児休業取得率100%
  - ③ 人権関連研修参加率100%
  - ④ インクルーシブデザインの商品・サービスの提供
  - ⑤ 1on1ミーティングの実施率100%
- 野村不動産の取組み
  - ・ウェルネスと成長のための1on1ミーティングの実施
  - ・新任基幹職研修にて、アンコンシャスバイアス研修の実施(2020年10月より当社グループ全社で実施)
  - ・LGBT活躍に関する取り組みの推進により、企業のLGBTに関する取り組みの評価指標であるPRIDE指標にてブロンズ認定を取得
  - ・障がい者雇用支援会社と連携した屋内型農園施設での就業機会を提供
  - ・社員コミュニティの場としての同好会の支援

### 働き方改革

- コアタイムを設けないフレックスタイム制勤務の導入による柔軟な働き方の促進
- テレワーク勤務の促進
- サテライトオフィス(HIT)の活用
- 本部単位での労働時間に関する目標設定による、過重労働防止
- RPAやチャットボット、電子決裁システム等のクラウドサービス活用による業務効率化の促進
- パースデー休暇、リフレッシュ休暇、パース休暇等各種休暇制度の設定による有給休暇取得促進

サテライトオフィス(HIT)



# グループカ

野村不動産グループの創業より大切にしていることは、「お客様第一の精神」であり、独創的な発想による新たな価値創造、そして挑戦者であり続ける精神です。これらの精神が、品質の高い住まいやオフィス開発等の不動産開発につながり、運営管理はもとより、不動産関連サービスの徹底した充実を通じて新たな事業と価値創造を続けていきます。安心・安全で快適な街をつくり、そこに住まい、働き、憩う人々の暮らしや時を豊かにすることで、よりよい“あした”をつくり出し、未来へつなぐことを目指しています。



新宿野村ビル

- **主な事業**  
マンション・戸建住宅の開発・分譲事業、賃貸マンションの開発・販売事業、シニア向け住宅の開発・運営事業、インターネット広告の代理店事業、不動産関連システムの開発・販売事業、住まいの駆けつけサービス事業等

- **主なグループ会社**  
野村不動産／野村不動産ウェルネス／プライムクロス／武蔵／ファーストリビングアシスタンス

- **主な事業**  
マンション・オフィスビル等の運営・管理・工事請負事業、リフォーム事業、地域冷暖房事業、太陽光発電事業、オフィスビル等の清掃業務の受託事業等

- **主なグループ会社**  
野村不動産パートナーズ／野村不動産熱供給／野村不動産アメニティサービス

- **主な事業**  
不動産仲介・コンサルティング事業、不動産情報サイト運営事業、保険代理店事業

- **主なグループ会社**  
野村不動産ソリューションズ／NOMURA REAL ESTATE HONG KONG／Tokio Property Services

- **主な事業**  
オフィスビル・物流施設・商業施設等の開発・賃貸・販売・運営受託事業、ホテルの開発・賃貸・運営事業、フィットネスクラブの運営事業、建築工事の設計監理事業等

- **主なグループ会社**  
野村不動産／野村不動産ライフ&スポーツ／野村不動産コマース／野村不動産ホテルズ

- **主な事業**  
東南アジア・中国・英国を中心に住宅・オフィスビル・サービスアパートメントや複合開発などの開発・賃貸・分譲事業

- **主なグループ会社**  
野村不動産／ZEN PLAZA／北京首開野村不動産管理／NOMURA REAL ESTATE ASIA／NOMURA REAL ESTATE (THAILAND)／NOMURA REAL ESTATE VIETNAM／野村不動産諮詢(上海)

- **主な事業**  
上場／私募REIT、私募ファンド及び有価証券ファンド等の不動産証券化商品等を対象とした資産運用事業等

- **主なグループ会社**  
野村不動産投資顧問  
Lothbury Investment Management



# 沿革

- 1957 野村証券から分離独立、ビルの賃貸・管理を主業務として不動産事業を開始
- 1959 仲介業務を開始
- 1961 「鎌倉・梶原山住宅地」の開発でデベロッパー業務を開始
- 1963 信託銀行と提携して当時画期的な長期ローン制度を実用化  
横浜市中区で分譲マンション「コープ竹の丸」を着工、マンション分譲事業に進出
- 1964 大阪支店最初の住宅地「枚方住宅地」を開発
- 1965 旧本社社屋「江戸橋ビル」完成。鑑定業務を開始
- 1969 本格木造住宅「野村ホーム」を開発、住宅建築分野に進出
- 1972 「野村マイホームサークル」制度発足、会員募集開始  
フィジー島の別荘地分譲を開始、海外事業に進出
- 1975 インテリアの販売、設計、コンサルティング業務を本格的に開始
- 1978 「新宿野村ビル」完成、本社を日本橋から「新宿野村ビル」に移転
- 1981 土地有効活用事業を新しく「ペアシステム」と名付け本格的に事業を開始
- 1982 不動産流通機構として、「野村住宅流通センター」発足
- 1983 「NOMURA REAL ESTATE INTERNATIONAL INC.」をロサンゼルスに設立し、海外での不動産賃貸事業に進出
- 1985 「鶴川緑山住宅地」分譲開始
- 1989 オーストラリア・シドニー「ダーリングパーク」プロジェクト始動  
「鶴川緑山倶楽部」オープン。フィットネス事業に進出
- 1992 「八千代公園都市住宅地」分譲開始
- 1994 広島西部丘陵都市「西風新都」A.CITY ヒルズアンドタワーズ」分譲開始
- 1995 メガロスブランド1号店「メガロス草加エグザス」オープン
- 1999 関西学術研究都市「けいはんな公園都市」分譲開始
- 2001 流通事業部門を独立、「野村不動産アーバンネット株式会社(現野村不動産ソリューションズ株式会社)」営業開始  
「横浜ビジネスパーク」計画全11棟完成  
不動産投資プライベートファンド運用会社、「野村不動産インベストメント・マネジメント株式会社」を設立

- 2002 国内初の不動産オペチュニティ・ファンド「日本・不動産オペチュニティ・ファンド(JOFI)」を組成  
住宅の統一商品・サービスブランド「ブラウド」を発表
- 2003 野村不動産オフィスファンド投資法人、投資証券を東証に上場
- 2004 野村不動産ホールディングス株式会社による持株会社体制へ移行
- 2005 収益不動産開発事業「イオン八千代緑ヶ丘ショッピングセンター」オープン
- 2006 野村不動産ホールディングス株式会社が東京証券取引所市場第一部に上場
- 2008 PMOシリーズ第1号「PMO日本橋本町」竣工  
ランドポート第1号「ランドポート板橋」竣工
- 2009 ブラウドエコビジョン策定
- 2010 初のマンション建替え事業開始「ブラウド新宿御苑エンパイア」竣工
- 2011 「オハナ」ブランドスタート「オハナ八坂萩山町」
- 2012 GEMS第1号「GEMS渋谷」グランドオープン  
オーナー向けサービス「リロケーションサービス」発表
- 2013 業界初。引渡後10年間の専有部メンテナンスサービス「NEXT PASS10」スタート  
「bono相模大野」オープン
- 2015 野村不動産グループ各社が連携しサービスを提供する会員組織「野村不動産グループカスタマークラブ」発足  
「ふなばし森のシティ」エコカルティエ認証(環境配慮型地区認証)  
シンガポールにNOMURA REAL ESTATE ASIA PTE.LTD.を設立
- 2018 NOHGA HOTEL第1号「NOHGA HOTEL UENO TOKYO」開業
- 2019 H'ITシリーズ第1号「H'IT新宿西口」など4拠点開業  
H'IOシリーズ第1号「H'IO日本橋室町」開業
- 2020 SOCOLAシリーズ第1号「SOCOLA 若葉台」開業  
MEFULLシリーズ第1号「MEFULL茶屋町」開業
- 2022 「野村不動産ビルディング」を吸収合併

# 会社概要

商号	野村不動産株式会社 (Nomura Real Estate Development Co., Ltd.)	
設立	1957年4月15日	
資本金	20億円(2022年4月1日現在)	
代表者	代表取締役社長 松尾 大作	
本店所在地	東京都新宿区西新宿1丁目26番2号	
売上高	4,280億800万円(2022年3月期)	
従業員数	1,828名(2022年4月1日現在)	
事業内容	マンション分譲事業 戸建分譲事業 投資・開発事業	ビルディング事業 建築・設計事業 資産運用事業 など

- 宅地建物取引業者免許
- 不動産鑑定業者登録
- 一級建築士事務所登録
- 建設業許可
- 不動産特定共同事業許可
- 金融商品取引業者登録
- 賃貸住宅管理業者登録
- 加盟協会

- 国土交通大臣(14)第1370号
- 東京都知事(1)第2660号
- 本社/東京都知事第11565号
- 国土交通大臣(特-2)第361号
- 東京都知事第83号
- 関東財務局長(金商)第1438号
- 国土交通大臣(1)第1690号
- 一般社団法人 不動産協会
- 公益社団法人 首都圏不動産公正取引協議会 ほか



この製品は、適切に管理されたFSC® 認証林およびその他の管理された供給源からの原材料でつくられています。